



平成 23 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー  
代表者名 代表取締役社長 森田 知治  
(JASDAQ コード 2 7 0 6 )  
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 朋浩  
(TEL 03 - 5372 - 6322 )

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

平成 23 年 3 月 11 日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社は、本日発表の「平成 23 年 2 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を下記のとおり解消いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

当社は、前事業年度まで継続して重要な営業損失、経常損失及び当期純損失並びに営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、平成 23 年 2 月期第 3 四半期会計期間末まで「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社は、当該状況を解消すべく、店舗事業収益の改善・エンターテイメント事業の強化・固定費の削減を実行してまいりました。

また、平成 23 年 3 月 30 日に開示いたしました「リテール部門の事業譲渡に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、「リテール事業」の利益貢献度は非常に不安定かつ厳しい状況にあり、ソフト市場のシュリンクといった将来の不安定要素、強大な No.1 チェーンが存在と台頭するネット通販の拡大によるリテール販売網の競争力の低下から、「リテール事業」の将来性と成長性への不安定要素を切り離し、当社の成長ドライバーとなっている「エンターテイメント事業」に経営資源の選択と集中を図ることで、企業として安定的な黒字体質への転換を目指してまいり所存です。なお、平成 23 年 3 月 30 日付で株式会社アニメイトと「リテール事業」譲渡契約を締結し、平成 23 年 5 月 27 日開催予定の定時株主総会における特別決議を経て、平成 23 年 6 月 1 日付で「リテール事業」を譲渡する予定であります。

平成 23 年 2 月期においては、営業利益及び経常利益並びに営業キャッシュ・フローの黒字化を達成したものの、事業譲渡損失引当金繰入額を特別損失に計上した結果、引き続き当期純損失を計上しており、当社には継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しておりますが、当該状況を解消するための対応策の実施により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

今後におきましては、株主はじめ関係者各位のご期待に添えるべく、全社一丸となり、業績の向上及び企業価値の増大に努めてまいり所存でございますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上